平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名　兼松日産農林株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7961　URL　http://www.knn.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 高崎　實
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 田中　昭浩　TEL 03-3265-8231

四半期報告書提出予定日　平成24年8月6日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,502	2.8	92	△11.3	92	△10.1	115	17.5
24年3月期第1四半期	2,433	△4.9	104	―	103	―	98	―

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　66百万円　(△10.0%)　24年3月期第1四半期　73百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.79	―
24年3月期第1四半期	2.38	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	7,234	3,443	47.6	83.05
24年3月期	7,788	3,376	43.4	81.45

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　3,443百万円　24年3月期　3,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	△3.3	150	△47.4	150	△46.4	140	△48.0	3.38
通期	10,600	△2.7	360	△15.6	350	△16.9	330	3.0	7.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	41,492,000 株	24年3月期	41,492,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	30,928 株	24年3月期	30,928 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	41,461,072 株	24年3月期1Q	41,461,645 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景として景気は緩やかな回復の兆しがみられたものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性の高まりや海外景気の下振れ等により先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主な事業分野であります住宅関連業界につきましては、住宅の安全・安心に対する関心の高まりやエネルギー確保の問題等を受け、住宅エコポイント制度等が継続され、新設住宅着工戸数は増加傾向となりました。

このような環境のもとで当社グループは、独自技術、特色ある商品を提供する事業に特化し、震災以降の市場の変化やニーズをタイムリーに把握し営業力の強化に努めました。この結果、売上高は25億２百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は９千２百万円（前年同期比11.3%減）、経常利益は９千２百万円（前年同期比10.1%減）、四半期純利益は１億１千５百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

ジオテック（地盤改良）事業

震災による住宅の不同沈下被害を復旧する修正工事は一服感はあるものの従来にはなかった多数の工事件数となりました。また、延長された住宅エコポイント制度への駆け込み需要や東北地区での住宅着工の増加により通常の地盤調査、地盤改良工事が回復いたしました。当社独自の木質杭を施工材料とする「環境パイル工法」では、2009年７月の性能証明取得以来、適用範囲を拡大する数次の性能証明改定を受け物件適用対象が広がり、ハウスメーカーの採用実績を伸ばしております。売上高は11億３千６百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は２百万円（前年同期は営業損失２百万円）となりました。

木材加工事業

震災後、更なる住宅部材の耐震性・耐久性への関心が高まり、保存処理木材の需要が拡大いたしました。また、処理薬剤販売も順調に推移いたしました。さらに、非住宅分野での新規受注にも積極的に展開を進め、林野庁補助事業等への研究参画も開始しております。売上高は、前期末でプレカット事業より撤退したことから８億７千万円（前年同期比10.2%減）、営業利益は３千７百万円（前年同期比59.3%減）となりました。

セキュリティ機器事業

当第１四半期では販売代理店への新商品の販売促進活動を強化し、また、販売代理店との協力による営業活動を進め、規模の大きなプロジェクト案件を受注するとともに一般案件の売上も伸ばすことができました。売上高は２億８百万円（前年同期比37.9%増）、営業利益は４千８百万円（前年同期比188.3%増）となりました。

石油製品事業

ガソリン消費の減少に歯止めがかからない中、原油価格は大幅に上昇し採算面で苦慮いたしましたが、引き続き新規配達先獲得に向けた営業活動等に注力いたしました。売上高は２億４百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益は５百万円（前年同期比64.1%増）となりました。

その他事業

マッチの需要は震災後の流通在庫の拡大やライターの安全対策規制の影響から増加傾向は続いておりますが、個人消費が低迷する中、雑貨等の販売は低調に推移しました。売上高は８千１百万円（前年同期比12.7%減）、営業損失は３百万円（前年同期は営業損失６百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は72億３千４百万円であり、前連結会計年度末と比較して５億５千４百万円減少いたしました。

流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により３億４千６百万円減少いたしました。固定資産は、投資有価証券の減少等により２億８百万円減少いたしました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、短期借入金の減少等により５億６千６百万円減少し、固定負債は長期借入金の減少等により５千４百万円減少いたしました。

純資産はその他有価証券評価差額金が減少しましたが、四半期純利益１億１千５百万円の計上等により前連結会計年度末から６千６百万円増加し、34億４千３百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の第２四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年５月２日発表の予想数値から変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この減価償却の方法の変更による影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,198	1,022
受取手形及び売掛金	1,941	1,815
商品及び製品	634	640
仕掛品	2	3
原材料	427	446
その他	145	74
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	4,340	3,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	276	271
機械装置及び運搬具（純額）	219	208
土地	2,203	2,203
リース資産（純額）	32	30
その他（純額）	15	13
有形固定資産合計	2,746	2,726
無形固定資産	17	16
投資その他の資産		
投資有価証券	578	391
その他	158	156
貸倒引当金	△53	△51
投資その他の資産合計	683	496
固定資産合計	3,448	3,239
資産合計	7,788	7,234

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,827	1,680
短期借入金	1,781	1,480
リース債務	17	17
未払法人税等	27	11
賞与引当金	83	51
その他	262	191
流動負債合計	3,998	3,432
固定負債		
長期借入金	108	85
リース債務	33	28
繰延税金負債	39	13
退職給付引当金	214	211
商品保証引当金	―	2
資産除去債務	17	17
固定負債合計	413	358
負債合計	4,412	3,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,325	3,325
資本剰余金	1,146	1,146
利益剰余金	△1,160	△1,044
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,306	3,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	21
繰延ヘッジ損益	1	△1
その他の包括利益累計額合計	70	20
純資産合計	3,376	3,443
負債純資産合計	7,788	7,234

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	2,433	2,502
売上原価	1,924	2,016
売上総利益	508	485
販売費及び一般管理費	403	392
営業利益	104	92
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	1	2
受取賃貸料	4	1
その他	1	2
営業外収益合計	7	7
営業外費用		
支払利息	9	7
その他	0	0
営業外費用合計	9	7
経常利益	103	92
特別利益		
固定資産売却益	9	－
投資有価証券売却益	－	32
特別利益合計	9	32
特別損失		
固定資産売却損	8	－
固定資産除却損	－	0
特別損失合計	8	0
税金等調整前四半期純利益	104	125
法人税、住民税及び事業税	6	9
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	6	9
少数株主損益調整前四半期純利益	98	115
四半期純利益	98	115

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	98	115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	△47
繰延ヘッジ損益	△0	△2
その他の包括利益合計	△24	△49
四半期包括利益	73	66
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	73	66
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ジオテック	木材加工	セキュリティ機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,042	969	150	176	2,339	93	2,433	－	2,433
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	57	－	9	67	0	67	△67	－
計	1,042	1,027	150	186	2,406	93	2,500	△67	2,433
セグメント利益又は損失（△）	△2	93	16	3	110	△6	103	0	104

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売及びエクステリア製品の施工・販売事業等であります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去０百万円であります。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ジオテック	木材加工	セキュリティ機器	石油製品	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,136	870	208	204	2,420	81	2,502	－	2,502
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	31	－	11	42	－	42	△42	－
計	1,136	901	208	216	2,462	81	2,544	△42	2,502
セグメント利益又は損失（△）	2	37	48	5	93	△3	90	2	92

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種マッチ製造販売事業等であります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去２百万円であります。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。